

JEAC4203-2004 原子炉格納容器の漏えい率試験規程に関する公衆意見回答

NO.	頁	意見	回答
1	解 - 7	圧力の単位を MPa[abs]としているが、ゲージ圧ではありませんか？	ご指摘の式は、出典文献において絶対圧力で議論しておりますので、規程内の記載で適切と考えます。
2	解 - 7	解説 2 - 10 の記述は適切でない。ここでは、予想される漏洩の流路形状がどのようになるかを述べるべき。たとえば、弁の大きな漏洩が生じた場合には、ここで触れているような衝撃波を伴う圧縮性流れが生じる可能性があるが、本評価法では、径に比較して十分に長く、摩擦圧損が支配的となるような流路を想定しているものと思う。	ご指摘は、解説 2 - 10 の記載が、格納容器からの漏えいという、圧力、温度、漏えい流路の形状、大きさ、長さ、流路表面形状及び粘性等、種々の条件に影響されるものについて、流路の形状等の条件を述べないまま、漏えいの性状を断定的に述べていることに対するご意見と理解いたします。 格納容器漏えい率試験における漏えいの流路は隔離弁のシートやガスケットの間隙等であり、圧力（最大 0.4MPa 程度）、温度（常温）や想定される流路の形状を考えれば、流速が音速に近い圧縮性流れや流速の極めて小さい分子拡散のような流れとはならないと考えていることから、解説 2 - 10 の規程内の表現でも技術的に疑義は生じないと考えますが、次回の改定におきましては、ご意見を踏まえ、前提条件等の記載を拡充することを検討いたします。
3	解 - 7	「一般的に次式で表すことができる」という記述があるが、以下の式は普遍的なものではなく、上記のような仮定が成り立つ場合に（経験的に）適用できる式ではないか。	ご指摘のとおり、解説 2 - 10 記載の式は、格納容器漏えい試験の条件において、流れの性状が同項に述べるようなものである場合に、一般的にいえるものであり、規程内の表現でも技術的に疑義は生じないと考えますが、次回の改定におきましては、ご意見を踏まえ、前提条件等の記載を拡充することを検討いたします。
4	解 - 7	CRNL は ORNL の転記ミス？	ご指摘のとおり、出典は OakRidgeNationalLaboratory の論文であり、転記ミスです。 正誤表について、適切な時期に発行できるよう電気協会内で検討いたします。